

タカの最小種「ツミ」

「ツミ」という変わった名前の野鳥がいます。「罪」という漢字を連想してしまうと、悪いことをしている鳥に思えてしまいますよね。しかし、そうではありません。正しくは「雀鷹」と書き、小さいタカを意味します。

体長は、オスが25cmでメスが30cm程度。昔はオスを「エッサイ」、メスを「ツミ」と呼んでいました。他の動物を捕食する猛禽類もうきんの中では最小ですが、気が強く自分より体の大きいタカ類やカラス類を攻撃する姿が目撃されています。オス（写真右）の体の上部は青み掛かった灰色、喉より下部は白くだいたい色のまだら模様があります。メスの体の上部は褐色で、喉より下部は白で褐色のまだら模様。足とまぶた、目の周囲は黄色です。

スズメなどの小鳥や昆虫をよく食べますが、爬虫類や小型の哺乳類も食べることがあります。繁殖期になると気の合ったオスとメスがペアで生活しますが、県内の繁殖事例は東濃や飛騨地域でのわずか3例です。それほど貴重な「ツミ」が園内で観察できました。

しかし、この貴重種の生息環境の悪化が危惧されています。皆さん、これからも貴重な動植物が繁殖できるように環境保護に協力をお願いします。

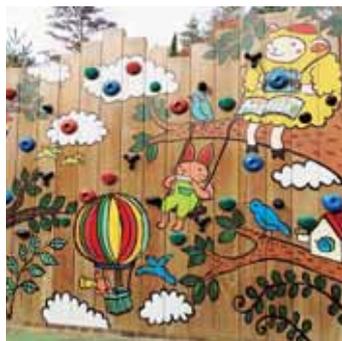


森の日記

安全で楽しい陶史の森

11月27日(火)

BBQ コーナー北側の橋を新しく架け替えました。鉄筋構造でとっても安全。滑り止めマットが貼ってあるためベビーカーでも安心して渡ることが出来ますよ。



また、子ども広場にあるボルダリングの壁板には、遊び心をくすぐる楽しい絵が描かれました。今後も園内で楽しく過ごせるよう整備をしていきますね。乞うご期待！

教室のご案内

2月
バードウォッチング（自由参加、雨天中止）
24日(日) 午前9時～11時30分
厳冬の野鳥を観察します。

3月
自然教室（自由参加）
10日(日) 午前9時～11時30分
春を待つ木や草の芽を調べます。

バードウォッチング（自由参加、雨天中止）
24日(日) 午前9時～11時30分
春の野鳥を観察します。

ネイチャーセンターでは、双眼鏡や野鳥図鑑を貸し出しています。気軽に声を掛けてください。

